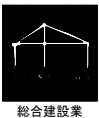


木更津駅前西口駐車場解体工事

[illegible]

株式会社 新昭和

千葉県君津市東坂田4丁目3番3号
1級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-1809-1156号

				管理建築士 1級建築士 第152777号 新見 眞弘	設 計 N O	名 称 木更津駅前西口駐車場解体工事	図 面 番 号 A-00	
				承認	検図	担当		縮 尺 図 面 名 図面リスト

解体工事名称
木更津駅西口駐車場解体工事

仕 様 書
第1 工事概要

- | | |
|------------|------------------|
| 1. 工 事 場 所 | 千葉県木更津市中央一丁目1番1号 |
| 2. 敷 地 面 積 | 3081.11㎡ |
| 3. 主 要 用 途 | 駐車場 |

4. 建物概要

建築物名称	構造	階数	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	備考
木更津駅西口駐車場	S造一部SRC造	地下1階、地上4階、塔屋2階		10160.28	

第2 解体工事等仕様

1. 共通仕様書

- 1) 図面及び解説仕様書に記載のない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書による。
・建築物解体工事共通仕様書・同解説（令和 4 年版）[以下「解体共仕」という。]
- 2) 解体共仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書による。
・公共建築標準仕様書（建築工事編）（令和 4 年版）[以下、「標準」という。]
・公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和 4 年度）[以下、「改修標準」という。]

2. 特記仕様

- 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
- 2) 特記事項は○のついたものを適用する。○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
○印と※印のついた場合は、共に適用する。
- 3) 特記事項に記載の()内表示番号は、解体共仕の当該項目を示す。

章

一

般

共

通

事

項

①適用基準等

②工事の記録

③工事実績情報の登録

④電気保安技術者

5.条件明示項目

6.引き渡しを要するもの

⑦安全対策

⑧過積載による違法運行の防止

・工事写真の撮り方 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）

※設計変更については、契約約款第18条から第20条、第22条から第25条及び公共建築工事標準仕様書（建築工事編）第1章1.1.8から1.1.10に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、建設工事請負契約に係る設計変更等ガイドライン令和4年4月」（木更津市）によることとする。

工事写真の整備

※宮崎工事写真撮影要領 平成28年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部制定

・本工事の最終積代金（消費税込）が、500万以上となる場合には、工事実績情報システム（CORINS）に基づき工事実績データを作成する。また、作成した内容について監督職員の確認を受けた後、以下に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センターに所定の手続きにより登録するとともに、登録内容確認書の写しを提出する。

（1）工事受注時 契約締結後10日以内

（2）登録内容の変更時 契約事項の確定日から10日以内

（3）工事完成時 工事完成後10日以内

・適用しない

・適用する（ ・ 自家用電気工作物 ・ 一般電気工作物 ）

ただし、自家用電気工作物の場合は1.3.3(a)、(b)の他、次によるものとする。

工事現場に置く電気保安技術者は、千葉県自家用電気工作物保安規程第三条に定める工事管理者（ ）の任命する監督職員の指示に従い保安業務を行う。

・

引き渡しを要するもの

名 称

仕 様 等

備 考

⑦受注者相互の緊密な連絡調整を図り、協力して工事を安全円滑に実施することを目的とする「工事関係者連絡会議」を設置すること。

・発注者が組織する安全対策委員会が行う安全審査、施工条件検討、安全点検等に協力すること。

※工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。

1.積載重量制限を超過して土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。

2.さし枠装着車、不表示車等に土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。

3.過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受けるなど、過積載を助長することのないようにすること。

4.取引関係のあるガンブカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

5.建設発生の土の処理及び骨材等の購入にあたって、下請事業者及び骨材等納入者の利益を不当に害することのないようにすること。

6.以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。

<1.2.3>

(1.1.4)

<1.3.3>

<1.3.5>

<1.3.10>

項目	特記事項
1 一般共通事項	⑨ 環境対策 ※ 受注者は、環境保全対策関係法令に従い工事現場地域の保全と、円滑な工事施工を図ること ※ 建設機械は、排ガス対策車及び、低騒音型を使用すること ※ 特定粉じん排出等作業（法定外建築物・作業を含む）は、「建築物の解体に係る石綿飛散防止対策マニュアル」に基づき施行する ※ 本工事で使用する軽油については、JIS規格軽油を使用すること。 騒音・粉塵等の対策 設置範囲及び高さ ※ 防音パネル ・ 防音シート ※ (図示 / 図による) ⑩ 工事現場管理 ※ 受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。 1. 不法・違法無届局（不法パーソナル無線）を設置したトラック、ダンプカー等を工事現場に立ち入らせないこと。 ⑪ デジタル工事の小黒板情報電子化 デジタル工事写真の小黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化・写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。 本工事でデジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事（以降、「対象工事」と称する）とすることができる。対象工事では、以下の（1）から（4）の全てを実施することとする。 （1）対象機器の導入 受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降「使用機器」と称する）については、営繕工事写真撮影要領2.(3)に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。 （2）デジタル工事写真における小黒板情報の電子的記入 受注者は、（1）の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黒板情報の電子的記入を行う項目は、営繕工事撮影要領2.(3)「撮影方法」による。 ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工程については、使用機器の利用を限定するものではない。 （3）小黒板情報の電子的記入の取扱い 本工事の工事写真の取扱いは、営繕工事写真撮影要領に準ずるが、（2）に示す小黒板情報の電子的記入については、同要領4.で規定されている写真編集には該当しない。 （4）小黒板情報の電子的記入を行った写真の納品 受注者は、（2）に示す小黒板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黒板情報電子化写真」と称する。）を、工事完成時に監督職員へ納品することとする。なお納品時に、受注者は、小黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出することとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することができる。 ⑫ 中間検査 ○中間検査を実施する（回数 1回、実施時期 監督員との協議による） 13. 中間検査の指定対象工事 本工事は、低入札価格調査制度調査対象工事（以下「調査対象工事」という）に該当する場合は、千葉県建設工事検査要領（検査の区分を規定）及び中間検査実施細則（中間検査実施区分を規定）の定めに関わらず中間検査の指定対象工事として、中間検査を実施する。 (1)調査対象工事の中間検査の実施は、「中間検査実施細則」に関わらず原則として2ヶ月に1回、及び主要工程を考慮し施工上の変化点等で行うが、実施時期は監督職員が指定する。なお、検査日及び検査監氏名は別途通知する。 2.中間検査は、通知日までに完了した出来形部分の出来形確認及び技術の確認等を行うが、給付の対象としない。 14. 創意工夫等 受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。 ⑬ 解体後の敷地資料等及び提出部数 CD-R：解体後の残存物及び設備引込み位置がわかる図面、各官庁に提出した申請書類一式をDVD-R スキャナーで読み込み（ファイル形式：TIFF）、CD-R又はDVD-Rに書き込んだもの。 CD-R提出枚数：1枚 ○工事写真 ○用紙厚0.15mm以上の写真用高画質紙 ○2部 ○写真データ（PDF）を記録したCD-R ○2部 ・完成図書（本工事中に作成した工事関係書類をまとめたもの） ○1部 ⑭ JR協議について 工事敷地が鉄道用地に隣接しているため、受注者等は東日本旅客鉄道株式会社（JR）と近接協議を行い、適切に対応を行うこと。 ⑮ 週休二日制（発注者指定方式） ・本工事は、週休2日促進工事である。 ・受注者は、原則週休2日制で施工すること。 ・工事の実施にあたっては、「木更津市営繕工事週休2日促進工事実施要領」に基づき行うこと。 18. 週休二日制（受注者希望方式） ・本工事を週休2日促進工事として実施することを希望する場合は、受注者は、現場着手前に発注者と協議すること。 ・上記の協議により、週休2日促進工事とした場合、工事の実施にあたっては、「木更津市営繕工事週休2日促進工事実施要領」に準ずる行うこと。
2 仮設施工	1. 監督職員事務所 ※ 設ける ・ 設けない (2.3.1) 監督職員規模（㎡） ・ 10程度 ・ 20程度 ・ 35程度 ・ 65程度 ② 工事用水 構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる（※ 有償 ・ 無償） ③ 工事用電力 構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる（※ 有償 ・ 無償） ④ 仮囲い ・ 成型鋼板 H= 2.0 m, L= 124 m H= 3.0 m, L= 244 m 5. 仮設通路 ・ 鋼板敷き（長さ 6m、幅 1.5 m、厚さ 22mm、枚） ⑥ 騒音・粉じん等の対策 騒音・粉じん等の対策 (2.2.1) ○防音パネル ・ 防音シート 設置範囲及び高さ ※図示 ⑦ 仮設足場 ・ 足場を設ける場合、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省平成21年4月）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立・解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。 なお、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2.(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 (2.2.2) ⑧ 交通整理員 ※ 配置する ・ 配置しない 配置概要 配置人数： 150 人 配置期間： 8ヶ月 配置場所：

3

① 浄化槽、排水槽等

解体
施工

② 杭の解体

③ 樹木等

④ 地下埋設物
・ 埋設配管

⑤ 設備機器等

⑥ 屋外設備等

⑦ 解体後の整地

⑧ その他

汚水、汚物等の回収、洗浄、消毒等の措置
○行う ・ 行わない

○行う ・ 行わない
杭の解体工法
○引抜き工法
引抜いた杭の処理(※図示 ・)

○破碎による解体
樹木の伐採伐根及び移植
○行う(※図示 ・)

地下埋設物及び埋設配管の解体
○行う(※図示 ・)

解体事前処理(油類タンク)
○機械設備図による。
○解体に先立ち、燃料配管、燃料槽、燃料小出槽等に残油が無いことを確認する。必要に応じて残油を抜き取り、燃料を土壌に流失させないように注意する。
○燃料槽、燃料小出槽は、洗浄のうえ中和処理を行う。
解体事前処理(冷媒)
・ 冷媒を屋外機にポンプダウンした撤去を行う機器は下記による。

図面番号	記 号
機械設備図による	

・ 冷媒を回収した後撤去を行う機器は下記による。

図面番号	記 号
機械設備図による	

電柱の撤去 ○行う(※図示 ・) ・ 行わない
外灯の撤去 ○行う(※図示 ・) ・ 行わない

解体後の埋戻し及び盛土
○行う
整地高さ
○現状 G L ・ 図示 ※設計 G L = 既存建物の現状設計 G L とする。
埋戻し及び盛土の材料
・ 山砂の類 ・ 他現場の建設発生土の中の良質土 ○流動化処理土
埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。
・ 行わない
表層の砂利敷き
・ 行う(・再生クラッシャーラン(RC-40)厚さ60mm ・ クラッシャーラン(C-40)厚さ60mm)
※行わない
工事排水の処理
場外に排水を行う際は、原則として水質検査を行い関係法令を遵守すること

<3.2.1>

<3.9.2>

<3.11.1>

<3.12.1>

<3.2.1>

<3.10.1>

<3.13.1>

<1.1.13>

4

1. 共通事項

建設
廃棄物
処理

2. 路盤廃材

③ 建設廃棄物

1) 「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を建設副産物情報交換システム(COBRIS)により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。
また、計画の実施状況(実績)については、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」及び「建設副産物情報交換システム登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。
◎作成対象工事
「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」は請負金額が、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」は最終請負金額が100万円以上の全ての工事について建設資材の利用、建設副産物の発生・搬出の有無にかかわらず作成する。

2) 「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」に基づき、建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を1部提出すること。なお、建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。
建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、1部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料(受入伝票、写真等)を監督職員に提出し確認を受けること。

3) 建設廃棄物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、原則として複写式伝票のD票及びE票の写しを提出すること。
また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を収録した電子媒体又は建設廃棄物の引渡時、運搬終了時及び処分終了時に登録される情報を印刷したもの(受渡確認票等)を提出すること。

本工事に発生する
路盤廃材()は 市 町地先、片道運搬距離 kmの
(※ 中間処理場 ・ 最終処分場) に運搬し、処理するものとする。

本工事に発生する

1) コンクリート塊(4,296.6 m³)、コンクリート二次製品(298m³)は本更津市塩浜1-1-5、片道運搬距離2.2 kmの
(※ 中間処理場 ・ 最終処分場)ジャパソクリンテック(株)に運搬し、処理するものとする。

2) 混合廃棄物(530m³)、陶磁器類(0.7m³)、ｶﾞｽｸﾞﾙ(0.3m³)は市原市柿崎海岸140、片道運搬距離15 kmの
(※ 中間処理場 ・ 最終処分場)ジャパソクリンテック(株)に運搬し、処理するものとする。

3) 建設発生木材(1.7 m³)は 本更津市木材港4-1、片道運搬距離 3.1 kmの
(※ 中間処理場 ・ 最終処分場) 東京木工所に運搬し、処理するものとする。

4) 金属くず(137.33m³)は、本更津市高柳843-1、片道運搬距離4.1 kmの
(※ 中間処理場 ・ 最終処分場) 大池興業(株)に運搬し、処理するものとする。

5) 廃石綿(レベル3化した外壁塗装)(2.138m³)は、岐阜県多治見市甘田町宇四反814-3、片道運搬距離368kmの
(・ 中間処理場 ・ 最終処分場)(株)フィルテックに運搬し、処理するものとする。

6) 7x7x3含有成形板(173.3m³)は市原市万田野481-2、片道運搬距離25 kmの
(・ 中間処理場 ・ 最終処分場) 杉田建材(株)に運搬し、処理するものとする。

7) ()は 市 町地先、片道運搬距離 kmの
(・ 中間処理場 ・ 最終処分場) に運搬し、処理するものとする。

8) ()は 市 町地先、片道運搬距離 kmの
(・ 中間処理場 ・ 最終処分場) に運搬し、処理するものとする。

なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。
工事発注後、事情により上記の指定処理により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

事項

項目

特記事項

5
特別産業廃棄物処理

① 施工調査

※特別管理産業廃棄物の調査を次により行う。

<5. 1. 2>

(1) 特別管理産業廃棄物の使用状況について、設計図書及び目視により製造所名、製造年、型式、種類、数量等を調査する。

(2) 特別管理産業廃棄物に応じた、収集運搬業者、処分業者、回収業者、産業廃棄物処理施設、処分条件等を調査する。

(3) 調査結果は調査にまとめ、監督職員に提出する。

2 分析調査

<5. 1. 2>

分析調査を行う特別管理産業廃棄物の種類	採取する部位・箇所数	備 考
・PCB 含有シーリング分析調査(第一次判定)	部 位 ・ 箇所 箇所数: 箇所	
・PCB 含有シーリング分析調査(第二次判定)	部 位 ・ 箇所 箇所数: 箇所	
・	部 位 ・ 箇所 箇所数: 箇所	
・	部 位 ・ 箇所 箇所数: 箇所	

・PCB 含有シーリング分析調査

<5. 4. 1>

・

・PCBを含む機器の微量PCBの分析調査

<5. 4. 1>

・

・絶縁油のPCB含有量の分析調査

・「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検討方法（平成4年7月3日厚生省告示第192号）」又は「絶縁油中の微量PCBに関する簡易測定法マニュアル(環境省)」により行う。

・ダイオキシン類のサンプリング調査

<5. 4. 1>

・「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類曝露防止対策要綱（平成13年4月25日付基発第401号）」により行う。

③ 特別管理産業廃棄物の処理

<5. 4. 1>

特別管理産業廃棄物の種類	備 考
○炭石綿等	
・PCBを含む機器類	
・PCB含有シーリング材	
・廃油	
・廃酸/廃アルカリ	
・ダイオキシン類	

4 PCBを含む機器類

引渡しを要する機器類

<5. 4. 1>

・

5 PCB含有「シーリング」材

・除去処理工事

<5. 4. 1>

除去範囲 ※図示

撤去方法 ・「標準施工要領書（日本シーリング工事業共同組合連合会／日本シーリング材工業会）」による

6 ダイオキシン類

産業物の焼却施設の解体

<5. 4. 1>

解体方法

処分方法

・



株式会社 新昭和

千葉県君津市東坂田4丁目3番3号
1級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-1809-1156号

管理建築士 1級建築士 第152777号 新見 眞弘			設 計 N O	名 称 木更津駅前西口駐車場解体工事	図 面 番 号 T-1
承認	検図	担当	縮 尺	図 面 名 解体工事特記仕様書 (1)	

	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																					
6	1	アスベスト含有分析調査	施工調査	<6.1.3>												7	1	施工調査	<7.1.3>																						
				・アスベスト含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。 調査範囲（ ・ 図示 ） 貸与資料（ ・ ） 分析によるアスベスト含有建材の調査 分析対象：アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト 分析方法 ※ JIS A 1481 -2 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法」又はJIS 1481-3 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法 第3部：アスベスト含有率のX線回折定量分析方法」による															分析調査を行う特殊な建設副産物の種類																						
				材 料 名															採取する部位・箇所数												備 考										
2	アスベスト粉じん濃度測定	アスベスト粉じん濃度測定	測定時期、場所及び測定点	<6.1.4												2	回収及び処分	<7.3.1>																							
				適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点（各処理作業ごと）														回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類												備 考											
				・ 測定 1 処理作業前 処理作業室内 ・（ ）点 ・ 測定 2 施工区画周辺又は敷地境界 ・4方向各1点 ・（ ）点 ・ 測定 3 処理作業中 処理作業室内 ・（ ）点 ・ 測定 4 セキュリティゾーン入口 ・（ ）点 ・ 測定 5 集じん・排気装置の排出口 ・集じん・排気装置各1点 （処理作業室外の場合） ・（ ）点 ・ 測定 6 施工区画周辺又は敷地境界 ・4方向各1点 ・（ ）点 ・ 測定 7 処理作業後（隔離ネット撤去前） 処理作業室内 ・（ ）点 ・ 測定 8 処理作業後 ネット撤去後1週間以降 処理作業室内 ・（ ）点 ・ 測定 施工区画周辺又は敷地境界 ・4方向各1点 ・（ ）点														・ フロン（冷媒） ・ 建材用断熱材フロン ・ ハロン ・ イオン化式感知器 ・ 六ふっ化硫黄（SF6）ガス ・ P F O S （ヘルフルオロ（オクタン-1-スロホン酸）） ・ 特定化学物質（ ） ・ その他の特殊な建設副産物（ ）																							
③	アスベスト含有建材の処理	アスベスト含有吹付け材の除去	又はアスベスト含有保温材等の除去で石綿粉じんを発生するおそれがある場合（損傷、劣化等） 除去対象範囲 ③外壁吹付タイル（ALC・PC） 除去工法 ※6.3.2 による ・ 除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ・セメント固化 除去したアスベスト含有吹付け材等の処分 ③埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）	<6.3.1～3												③	アスベスト含有保温材の除去	除去工法 ・公共建築改修工事標準仕様書 9.1.4（3）による （原形のまま、手ばらしが可能な場合） 除去対象範囲 ・図示 ・ ・公共建築改修工事標準仕様書 9.1.4（2）による （損傷、劣化等で石綿粉塵を発生するおそれがある場合） 除去対象範囲 ・図示 ・ 除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ・セメント固化 除去したアスベスト含有保温材の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）	<6.4.1～4																						
				③アスベスト含有成形板の除去 除去対象範囲 ③軒裏ﾌｫｰﾐﾝｸﾞｼｰﾄﾞ 作業場の隔離 ③行う ・行わない 除去したアスベスト含有成形板の処分 ③アスベスト含有せっこうボード ※埋立処分（管理型最終処分場） ・アスベスト含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）															<6.5.1～4																						
				・アスベスト含有建築用仕上塗材等の除去 除去対象範囲 ・図示 ・ 着工前の試験施工 ・行う ・行わない 除去工法 ・ 除去したアスベスト含有建築用仕上塗材等の飛散防止 ※ 密封処理 ※ 湿潤化 ・セメント固化 除去したアスベスト含有建築用仕上塗材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）															<6.6.1～4																						
4	リフラクトリーセラミックファイバーの処理	除去処理対象物	除去対象範囲 ・図示 ・ 除去方法 ・図示 ・ 処分 ・埋立処分（安定型最終処分場）	<6.7.1～4												4	リフラクトリーセラミックファイバーの処理	除去処理対象物	除去対象範囲 ・図示 ・ 除去方法 ・図示 ・ 処分 ・埋立処分（安定型最終処分場）	<6.8.1～4																					
				<6.9.1～4																<6.10.1～4																					
				<6.11.1～4																<6.12.1～4																					



総合建設業

株式会社 新昭和

千葉県君津市東坂田4丁目3番3号
1級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-1809-11156号

管理建築士
1級建築士 第15277号
新見 真弘

承認 検図 担当

設計 N O

縮 尺

名 称

図 面 名

木更津駅前西口駐車場解体工事

解体工事特記仕様書 (2)

図 面 番 号

T-2

A-1

⑦ 重量 シャッター	シャッターケース (防火、防塵以外のもの) ☐ 設ける ☐ 設けない 開閉機構による種類 ※ 上部電動式 (手動併用) 電線 相 V ☐ 手動式 製造所名	(16.7.1) (16.7.1B)
⑧ 質量 シャッター	開閉機構による種類 ※ 手動式 ☐ 上部電動式 (手動併用) 電線 相 V 製造所名	(16.8.1B)
⑨ 遮 光 用 金 物	マスターキー ■ 製作しない ☐ 製作する モ ノ ロ ッ ク 本編まり付モノロック シリンドア 簡 錠 シリンドア本編り錠 ドアクローザー ピボットヒンジ	(16.10.2)

① 石こうボードその他 ボード及び合板類	・石こうボード JIS A8901の規格品、厚さ9mm(準不燃)、厚さ12mm(不燃) (18.4.1)(18.4.1表) ・化粧石膏ボード JIS A6911による、厚さ9mm(不燃) ・木目化粧石膏ボード (準木目・木目、幅400程度、厚さ9mm(準不燃)、専用地材付き) ・シーリング石こうボード JIS A6912の規格品 ・木毛セメント板 JIS A5404の規格品 ・無石棉セメントいー機材 JIS A5418に準拠したノンアスベストのもの ルーラム板 ・メラミン樹脂化粧板 JIS K6903の規格品 厚さ1.2mm ・	(18.4.1)(18.4.1表)
-------------------------	---	-------------------

① 積込用土 ② 支柱 ③ 芝張り	※ 現場発生の土質表 ◎ 客土 (黒畑土 ・ 黒土) (21.1.1) ※ 防鼠剤使用 ・ 焼凡丸 (21.1.2) 種類 黒こうらい芝 ・ 野芝 (21.2.1) 客土 ① 行方 ・ 行わない (21.2.2)															
① 埋設溝止め ② 黒板	◎ 材料 ステンレス板(SUS 304) (22.1.2) 形状 ビニールタテ入りただし両端フラットエンド 黒有 (黒ステンレスSUS304板 ・ ビニール製) ・ 無 幅(mm) 約35 取付工法 ・ 埋込み工法 黒接着工法 (22.1.4) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th><th>規格名称</th><th>寸法など</th><th>色 彩</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 鋼板</td><td>JIS S6007の規</td><td></td><td>・ 黒</td><td>・ 平面</td></tr> <tr> <td>・ 木製板</td><td>杉板</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	種類	規格名称	寸法など	色 彩	備 考	・ 鋼板	JIS S6007の規		・ 黒	・ 平面	・ 木製板	杉板			
種類	規格名称	寸法など	色 彩	備 考												
・ 鋼板	JIS S6007の規		・ 黒	・ 平面												
・ 木製板	杉板															

[illegible]

	ヒンクローザー ■D型	
	フロアー ヒンシ 防火戸はストップなしとする。	
(10) ガラス	合わせガラス ・ フロート板合わせガラス 強化ガラス ・ フロート板強化ガラス 熱線吸収板ガラス ・ 熱線吸収フロート板ガラス ・ 熱線吸収入り磨板ガラス 色調 ・ グレー ・ ブルー ・ ブロンズ 複層ガラス 断熱性能 低ガラスの材料	(16.11.1)
(11) ガラス留め材		(16.11.1)(16.11.12)
建具の種類		材
アルミニウム製	○ ガスケット(但し、FIX部はシーリング材とする) ■ シーリング材 ■ 建築基準法に基づく耐火性能認定品(適用箇所は建具表による)	
鋼製	■ シーリング材	■ バテ1種 ■ バテ2種
ステンレス製	■ シーリング材	■ バテ1種 ■ バテ2種
12. オーバーヘッドドア		(16.12.1表)(16.12.2表)
セクション材料による種類	閉閉機構による種類	ガイドレールの材質
・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラストタイプ	■ バランス式・スタンダード型 ・ チューン式・ローヘッド型 ・電動式	■ 鋼板 ・ スタンレスSUS304#2.0
		■ 樹脂強化塗装合成板 (透明色・半透明色・特定色) ・ 樹脂強化皮膜
ガイドレール用鋼板の単位付量計算式		
	●行う	■行わない

			#19
--	--	--	-----

9. フローリング張り

(18.5.1-18.5.5)(18.5.1表-18.5.4表)			
類 別	材 種	工 法	仕 上 費 装
■ 天然水化粧複合フローリング	■ 相室はひの又は松	■ くぎ留工法	■ 無
■ 木	■ *	(・A種・B種・C種)	■ *

10. 壁 紙 張 り

(18.6.1)	
施 工 箇 所	防火性能の級別
	■ 1級・2級
	■ 1級・2級
	■ 1級・2級
	■ 1級・2級
	■ 1級・2級
	■ 1級・2級

製品名

(18.6.1)(18.6.3)(18.6.4)(18.6.1表)			
種 類	取 込 み	色 別	品 質 名
■ フォルテン カーペット	■ グリッパー工法	■ 無地 ・柄物	■ 行わない
■ フラット カーペット	■ 全面接着工法 (F敷き材なし) ・グリッパー工法	■ 無地 ・柄物	■ 行わない

製品名

(18.2.1)(18.3.1)(8.3.1表)			
種 類	厚 さ	ラバーの有無	品 質 名

事		① ほうろう ・ 焼き付け	JIS. S6045による		② 鋼板 ・ スクリーン目付分																														
3. カーテン		(22.3.1) (22.3.2) (22.3.3) (22.3.4)																																	
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">施工箇所</th> <th style="width: 15%;">形式</th> <th style="width: 20%;">装置</th> <th style="width: 20%;">名称・品質</th> <th style="width: 30%;">ひだの種別</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・市引・引分</td> <td>・電動・ひも引・手引</td> <td></td> <td>・A種・B種・C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・市引・引分</td> <td>・電動・ひも引・手引</td> <td></td> <td>・A種・B種・C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・市引・引分</td> <td>・電動・ひも引・手引</td> <td></td> <td>・A種・B種・C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・市引・引分</td> <td>・電動・ひも引・手引</td> <td></td> <td>・A種・B種・C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・市引・引分</td> <td>・電動・ひも引・手引</td> <td></td> <td>・A種・B種・C種</td> </tr> </table>				施工箇所	形式	装置	名称・品質	ひだの種別		・市引・引分	・電動・ひも引・手引		・A種・B種・C種		・市引・引分	・電動・ひも引・手引		・A種・B種・C種		・市引・引分	・電動・ひも引・手引		・A種・B種・C種		・市引・引分	・電動・ひも引・手引		・A種・B種・C種		・市引・引分	・電動・ひも引・手引		・A種・B種・C種
施工箇所	形式	装置	名称・品質	ひだの種別																															
	・市引・引分	・電動・ひも引・手引		・A種・B種・C種																															
	・市引・引分	・電動・ひも引・手引		・A種・B種・C種																															
	・市引・引分	・電動・ひも引・手引		・A種・B種・C種																															
	・市引・引分	・電動・ひも引・手引		・A種・B種・C種																															
	・市引・引分	・電動・ひも引・手引		・A種・B種・C種																															
		製造所名																																	
4. カーテンレール		(22.3.2)																																	
		材質 ● ステンレス ・ アルミニウム製 形状 ● C型 ■ D型又は角型																																	
		形式 ・ 片引き (・ ひも引き ・ 手引き) ・ 引き分け (・ ひも引き ・ 手引き)																																	
		色別 ● シルバー ・ 白色																																	
5. アルミニウム製カーテンボックス及びブラインドボックス																																			
⑥ 点検口		・ 天井見付部 (● 隠れタイプ ・ 目地タイプ) 製品所名(製品名) アイタン																																	
		・ 床 (目地アルミニウム製) 製品所名(製品名)																																	
7. 鋼製看板及び作品フレーム																																			
⑧ かぎ紙																																			
9. くつみきマット																																			

15	1. 防 火 材 料	■屋内外壁及び天井の仕上げ材は防火材料、又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。 ・次の箇所を除き防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。			
	2. 防水モルタルの防水剤	製造所名(製品名) (15.6.1) (15.6.2)			
3. 仕上塗材仕上げ	(15.6.1) (15.6.1兼) (15.6.4)				
	名 称	種 類	仕 上 げ	工 法	上 塗 り 材
・ 薄 付 け 仕 上 塗 材	・ 薄 付 け 仕 上 塗 材	・ 外装薄塗材C ・ 内装薄塗材C	・ 砂 壁 状 ・ 着色骨材砂壁状 ・ 砂壁状ジュウク ・ 内装薄塗材E ・ 内装薄塗材SI	■ 吹付け ・ ロール	
		・ 外装薄塗材E			
		・ 内装薄塗材E			
		・ 砂壁状ジュウク			
		・ 内装薄塗材SI			
・ 厚 付 け 仕 上 塗 材	・ 厚 付 け 仕 上 塗 材	・ 外装厚塗材C ・ 外装厚塗材E	・ 撥水吹き ・ 凸部処理	■ 吹付け ・ こて	
		・ 塗層塗材CE ・ 塗層塗材SI ○ 塗層塗材E ・ 塗層塗材RE ・ 塗層塗材RS			
4. 軽量骨材吹付け材吹付け	(15.7.1)				
	種 類		骨 材		仕上り厚さ (mm)
5. ロックウール吹付け	■ 吹付け用軽量骨材仕上塗材		・ パーライト ・ バイミキユライト		■ 5
5. ロックウール吹付け	(15.7.2)				
	種 類	色 彩	厚さ (mm)	施 工 箇 所	
・ 一般用	・ *	・ 着色	・ 10 ・ 15		
		・ 原色	・ 20		

製造所

■ 屋内の電気及び天井の装飾仕上げは防火材料とする。
 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。

JIS 表示許可工場の製品とする。ただし、小量の場合、監督員の承諾を受けてこれ以外とすることができる。
 製造所名(製品名) (17.16.2)

4. マスチック樹脂塗り

(17.16.2)(17.16.1表)

種 別	凸面処理	表面仕上材料等
・ A種	・ 有 ・ 無	・ 有 (・ アクリル樹脂エナメル2回塗り ・ 有炭合炭樹脂エマルジョンペイント2回塗り) ・ 無
・ B種	・ 有	
・ C種	・ 有 ・ 無	・ アクリル樹脂エナメル2回塗り ・ 有炭合炭樹脂エマルジョンペイント2回塗り

材 質 ウレタン樹脂系塗料 (■ 無機色 ・)
 仕上規制 ■ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ
 塗布量 プライマー塗りの上主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5~0.6kg/m²以上とする。

■ 日本塗装工業会の会員
 ・ 監督員の承諾する塗装業者

①外面主建具(SD)については、標準仕様としてサイズA種、塗装はアクリル樹脂エナメル塗り2回塗りとする。

	ニードルパンチ カーペット	・あり ・なし		
製造所名				
12. 断 熱 材	(注.9.)			
	材 種	種 類	厚さ(㎜)	品 質・規 格
	ポリスチレン フォーム板	・ 短期保温版2種 ・ 長期保温版3種(片面発泡)	■ 25 。	JIS A9511の炭素品
	硬質ウレタ ンフォーム 保温材	・ 保温版1種2号 ・ 現場発泡		JIS A5514の炭素品又は適合品 JIS A9514の1種2号と同程度の性能で確認したもの
13. 吸 音 材	(注.10.)			
	材 種	種 類	厚さ(㎜)	品 質・規 格
	ロックワール	ロックワール吸音ボード1号	■ 25 。	JIS A 6303の炭素品
	グラスワール	グラスワール吸音ボード2号32K	■ 25 。	JIS A 6306の炭素品
19. 舗 装 工 事				
1. しゅ断層及び直上抑制 層用材料	しゅ断層	■ 川砂、海砂又は良質な山砂		(注.12.)
2. 底 土 材 料	路床の底土材料	・		(注.12.)
3. 路 床 土 の 支 持 力 比 (CBR)試験	■ 行わない		■ 25 。	(注.12.)
4. 路床締固めの試験	■ 行わない	・ 行う (風干した土・風乾いた土)		(注.12.)
5. 路 盤 材 料	■ 行わない	・ 行う		(注.12.)
6. アスファルト舗装	■ クラッシュラン(C-40)又は、クラッシュランスラグ(CS-40) 加熱混合物	■ 粗粒質アスファルト混合物 (13) 表層 ■ 細粒質アスファルト混合物 (13) ■ 細粒質アスファルト混合物 (13F) シールコート	■ 粗粒質アスファルト混合物 ・ ・ ・ ・	(注.13.)(注.13.1) (注.13.2) (注.13.3) (注.13.4)(注.13.5)
7. コンクリート基盤	アスファルト混合物の播布試験	・ 行う	・ 行わない	(注.14.) (注.14.)
	早強セメント	・ 使用する	・ 使用しない	(注.15.)

⑬ 床 し 台	● 暖房住宅用 (トラップ付)	● スリッパ用 (スリッパ付)
⑭ コン ロ 台	● 暖房住宅用	● 暖房住宅用
⑮ つり 戸 だ な	● 暖房住宅用	● 暖房住宅用
⑯ 水 切 り だ な	● 暖房住宅用	● 暖房住宅用
14. 旗 竿	形式 ● テーバー型 ● 同一断面型 地上高さ(m) ● 6 ● 8 ● 10 ● 12 製造所名(製品名)	
15. 旗 竿 受 金 物	材料 ステンレス鋼 SUS304	
16. 表示 ・ 標 識	製造所 製造員の承諾する製造所	
17. 建築型式サイン板材	製造所名(製品名)	
18. 砂 利 敷 き	砂利 粒径 ● A 種 ● B 種 建物間、その他 ● A 種 ● B 種	(22.5.1表)
19. 複層降着用誘導床材	材料 ・ レシコンクリート製 ● 塩化ビニール製	
20. 敷 地 境 界 石 標	● A 種 ● B 種	(22.7.1表)
②1 フ ェ ン ス	● 形状 高さ(mm) ● 600 ● 900 ● 1200 ● 製造所名(製品名) ③ トーアアール(株) 〒1-1 所属品	
	● 網型 高さ(mm) ● 800 ● 900 ● 1000 ● 1200 ● 1500 ● 1800 ④ ネットは 4mm 網目径鉄線(網目4.0mm、網目56mm)、支柱の高さ1,500mm以上は支柱(1本外)付き 銀腐品 三徳 亜鉛メッキ電鍮、支柱 溶接金6メシ	
	製造所名(製品名)	
22. 壁 内 掲 示 板	おく アルミミニ製又はステンレス製	
23. 壁 外 掲 示 板	照明の内蔵(● 無 ● 有) 製造所名(製品名)	
②4 定 礎 板	③ 車椅子 ④ 250×1450 ⑤ 鋼 板 固定	
②5 P マーウ	③ PH 4面 黄木	
②6 転 落 防止 板	③ 1200幅×500mm (マーク付) ④ 1200幅×500mm×10mm厚 ⑤ 1200幅×500mm×10mm厚	
②7 庭 間 通 風 板	③ 505鋼板厚 250×250×10mm ④ 日本建築規格品 ⑤ 日本建築規格品	
②8 笠 名 札	③ 鉄板製 ④ 厚板 ⑤ 厚板 ⑥ 厚板	
②9 駐 輪 場 内 板	③ コタキ フラットパイル GS-20352 同等品	

⑬ 建 具 工 事	① アルミニウム製建具	防火性は建築基準法に基づく認定を受けたものとする。 材 質 ・ A 型 ■ B 型 耐風圧 (kg/m^2) ■ 200以下・ 耐候性による等級 ■ 8 ・ 2 水密性による等級 ■ 25 ■ 35 ・ 50 表面処理 外部建具 ■ B-1 種 ・ B-2 種 (色形 ■ ブロンズ系(濃)・) (14.2.7表) 内部建具 ■ C-1 種 ・ C-2 種 (色形 ■ ブロンズ系(濃)・) 製造所名	(16.2.1)~(16.2.3)
	2. 網 戸 の 調 メッシュ	■ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 ・ ガラス織入り合成樹脂製 ■ 1.6 ・ 1.8	(16.2.5)
	③ 鋼 製 建 具	製造所名	(16.3.2)
	④ 鋼 製 軽 量 建 具	製造所名	(16.4.2)
	5. ステンレス製建具	鋼板の曲げ加工 ■ 普通曲げ ・ 角出し曲げ 製品所名	(16.5.2)
	6. 自動とびら機構	駆動力 ■ 電気式 ・ 電動油圧式 検出装置 ・ フォットスイッチ ・ 熱線 製品所名(製品名)	(16.6.2)

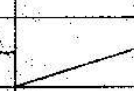
1. 防水材 種

② ビニール床シート張り

壁及び天井の仕上材は、不燃又は準不燃の認定表示のあるものとす。

種 類	色 相	厚さ(mm)	品 質・規 格
■ 一般用(見出し層のないもの)	■ 無地	■ 2.5	■ JIS A 5707の規格品
●	■ 細マarmor	●	
工 法 ・ 実 付 け	施工箇所()		
● 熱溶接	施工箇所()		

③ ビニール床タイル張り

種 類	厚 さ (mm)
● 半焼質ビニール法タイル	
● 乾質ビニール法タイル	
○ 半モジニアスビニール床タイル	■ 2
	■ マーブル・プレーン

④ ビニール 鋪 木

高 さ (mm)	● 60	■ 75		
厚 さ (mm)	● 2			

5. 合成樹脂複層床

● 弾力ウレタン複層床材	■ 弾力仕上げ	● つや消し仕上げ	(18.3.3)(18.3.3.3)
仕 上 げ の 種 類	■ 平滑仕上げ		
● エポキシ樹脂複層床材			(18.3.3)(18.3.4表~18.3.7表)
仕 上 げ の 種 類	● 導電流し膜へ仕上げ	● 樹脂流し膜へ仕上げ	● 樹脂床タイル仕上げ

8. 既 製 間 仕 切

構造形式	表面材質及び厚さ(mm)	仕 上 げ	品質・性能
● パネル式	■ 鋼板 (+ 0.6 - 0.8)	■ プラミン樹脂床材又は アルキル樹脂床材併用装付	■ JIS A 6512による
● スタッド式			
● スタッパパネル式		●	

8. 特 殊 塗 装	溶接金属	● あり	● なし	● 耐料を使用した加熱アスファルト混合物	(19.6)
	カラー舗装の種類				
	コンクリート平板の寸法	■ N 300			(19.6)
	インターロッキングブロックの材質	色別	● ナチュラル	● カラー	(19.6)
20 排	コンクリート平板のクッション材	● 砂	● 空練りモルタル		(19.6)
	インターロッキングブロックのクッション材	● 砂	● 空練りモルタル		(19.6)
	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
水	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
工	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
事	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速力鉄筋コンクリート管	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				
	排水ますふた及び蓋ふた				
2. 速	① 排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				(20.1)
	排水ますふた及び蓋ふた				

	工事設計図		
	本更津駅前西口駐車場建設工事		
	仕 様 書 (そ の 2)		平成 2 年 度 版
			A - 2

建家概要表

申請地	千葉県木更津市富士見1-392-6~14, 中央1-392-4								
地域、地区	商業地域,準防火地域								
敷地面積	3081.11㎡								
建築面積	2402.85㎡ 延べ率 77.99% < 80%								
延床面積	10160.28㎡								
容積率算定用床面積	8128.22㎡ 容積率 263.81% < 400%								
階	B1 階	1 階	2 階	3 階	4 階	R 階	PH 階	階	合計
床面積	738.65㎡	2369.03㎡	2359.89㎡	2388.28㎡	2218.88㎡	57.03㎡	28.52㎡	㎡	10160.28㎡
駐車台数	台	65 台	91 台	95 台	87 台	97 台	— 台	台	435 台
用途	駐車場・駐輪場								
工事種別	新 築								
構造	鉄骨造 一部鉄筋コンクリート造 地下1階,地上4階,塔屋2階								
最高軒高 [※]	14.929 m								
最高高さ	15.579 m								
構造	連続傾床式対面通行型								

注記：駐車台数には大型車用 45台、身障者用 6台を含む。
B1階 駐輪場 駐輪台数 約450台

外部仕上表

屋上	コンクリート断毛引き仕上		車室面積
PH屋根	コンクリート金ゴテ下地ノ上シート防水 《露出、非歩行機仕上》		大型車用 25×6.0×15.0×45台＝675.0㎡
外壁	ALC版ノ上吹付けタイル①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿㉠㉡㉢㉣㉤㉥㉦㉧㉨㉩㉪㉫㉬㉭㉮㉯㉰㉱㉲㉳㉴㉵㉶㉷㉸㉹㉺㉻㉼㉽㉾㉿㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	① 垂り防鳥ネット表	身障者用 3.5×5.0×12.5×6台＝105.0㎡
断壁	鋼口部PC版(リブ付)ノ上 吹付けタイル		普通車用 2.5×5.0×12.5×384台＝4800.0㎡
柱	コンクリート打放しノ上 吹付けタイル 《ブレース：ラスモルタルノ上》		合 計 5580.0㎡
欄	塩ビパイプ、場内SGP 吹付けタイル		
建具	スチールドア、スチールシャッター、アルミサッシュ		
笠木	コンクリート打放し補修		
巾木	コンクリート打放し補修		
屋外階段	鉄骨 吹付けタイル		

内部仕上表

	室名	床		巾木		壁		天井		備考
		仕上	下地	仕上	H	仕上	下地	仕上	下地	
1階	管理室	吹付けタイル①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	モルタル	ソフト巾木	100	不燃クロス	PBGL工法	化粧石膏ボード	LGS・PB01	窓名札 (アルミ製)
	事務所(和室)	吹付けタイル①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	モルタル	同 上	100	不燃クロス	同 上	同 上	同 上	吹付けタイル①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
	事務所(便所)	吹付けタイル①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	モルタル				モルタル	フレキシブルボード VP		吹付けタイル①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
	B1F 便所	吹付けタイル①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	モルタル				モルタル	フレキシブルボード VP		吹付けタイル①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
	B1F EVホール	100角磁器質タイル	モルタル				吹付けタイル	同 上	化粧石膏ボード	LGS・PB01
各階	駐車場 (駐輪場)	コンクリート断毛引き				コンクリート打放し、ALC版		化粧石膏ボード VP (吹付けタイル)		吹付けタイル①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
	EVホール	長尺ビニールシート①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	モルタル		100	吹付けタイル	ALC版	フレキシブルボード VP	LGS	
鉄道	階段室	長尺ビニールシート①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿		ササラプレート 0.8	100	吹付けタイル	ALC版	デッキ素地		吹付けタイル①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
	EV調音室	シンダーコンクリート	コンクリート			ALC版素地		デッキ素地		窓名札 (アルミ製)
	EVシャフト	防水モルタル	コンクリート			ALC版素地、岩綿吹付		デッキ素地		
	機械室・電気室・倉庫	コンクリート金ゴテ				ALC版素地		デッキ素地		窓名札 (アルミ製)

※ フレキシブルボード：100×300×10mm



株式会社 新昭和

千葉県君津市東坂田4丁目3番3号
1級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-1809-1156号

管理建築士
1級建築士 第233423号
永岡 浩二

承認 検図 担当

設計 N O

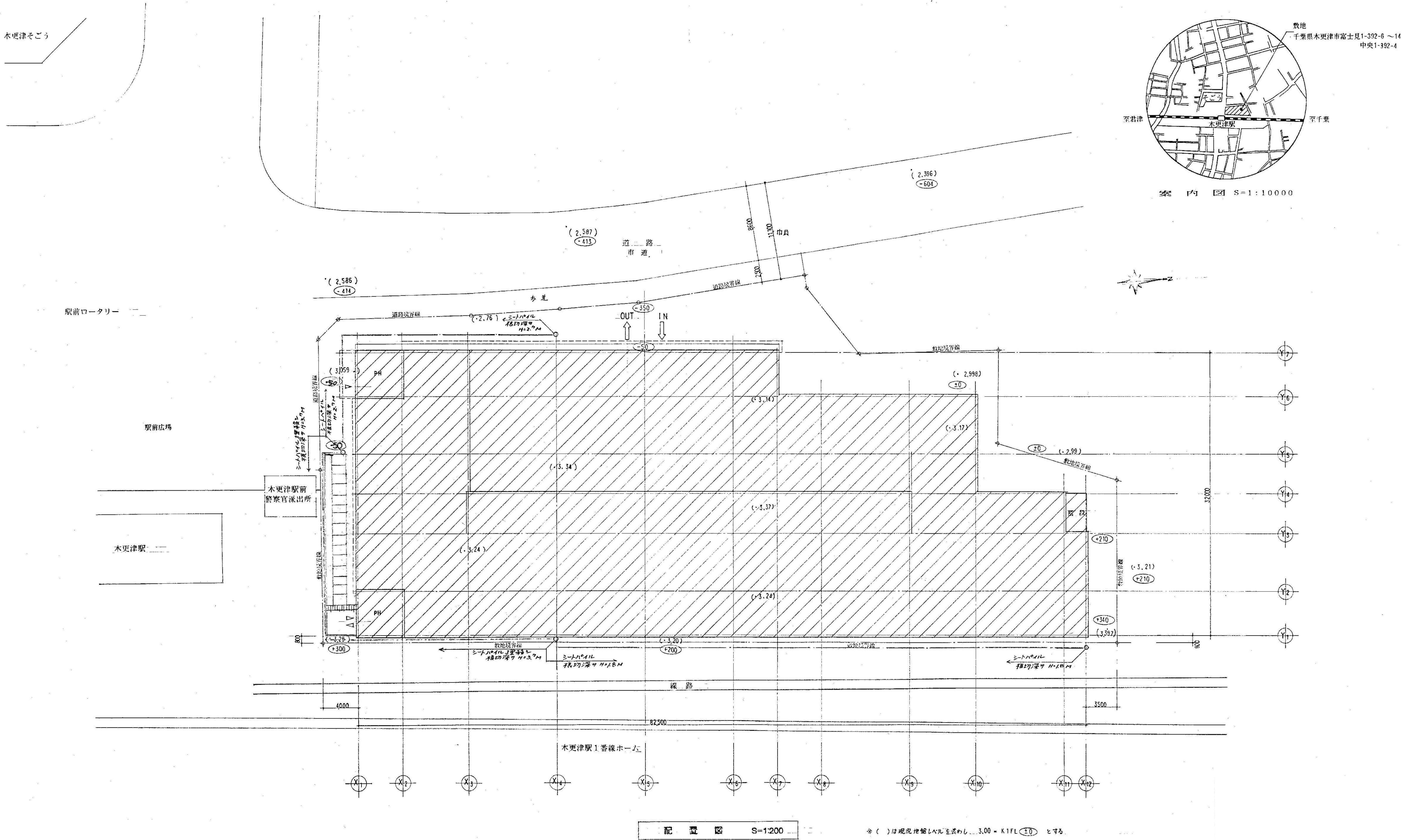
名 称
木更津駅前西口駐車場解体工事

縮 尺

図 面 名
設計概要・仕上表

図 面 番 号

A-3



株式会社 新昭和

千葉県君津市東坂田4丁目3番3号
1級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-1809-1156号

管理建築士
1級建築士 第233423号
永岡 浩二

承認 検図 担当

設計NO

木更津駅西口駐車場解体工事

縮尺

S=1:200 (A1)
S=1:400 (A3)

名称

図面名

配置図

図面番号

A-4

木更津そごう

駅前ロータリー

木更津駅

植栽立上り S=1:20

ネットフェンス基礎 S=1:20

JRコンクリート柵 S=1:30

- 凡 例
- 400角磁器質タイル (タマコン/SP)
 - 植栽 (周囲立上り: コンクリート打放 吹付タイル
* ヤマモモ (H=3500, C=300, W=1200), サツキ・ツバキ (H=300, W=400)
砕石 土=70
 - コンクリート刷毛引 (トマコ/SP)

外 図 S=1:200

※ () は現況地盤レベルを表わし 3.00 = K1FL (±0) とする



株式会社 新昭和

千葉県君津市東坂田4丁目3番3号
1級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-1809-1156号

管理建築士
1級建築士 第152777号
新見 眞弘

承認 検図 担当

設計 NO

縮尺

S=1:200 (A1)
S=1:400 (A2)

名称

木更津駅前西口駐車場解体工事

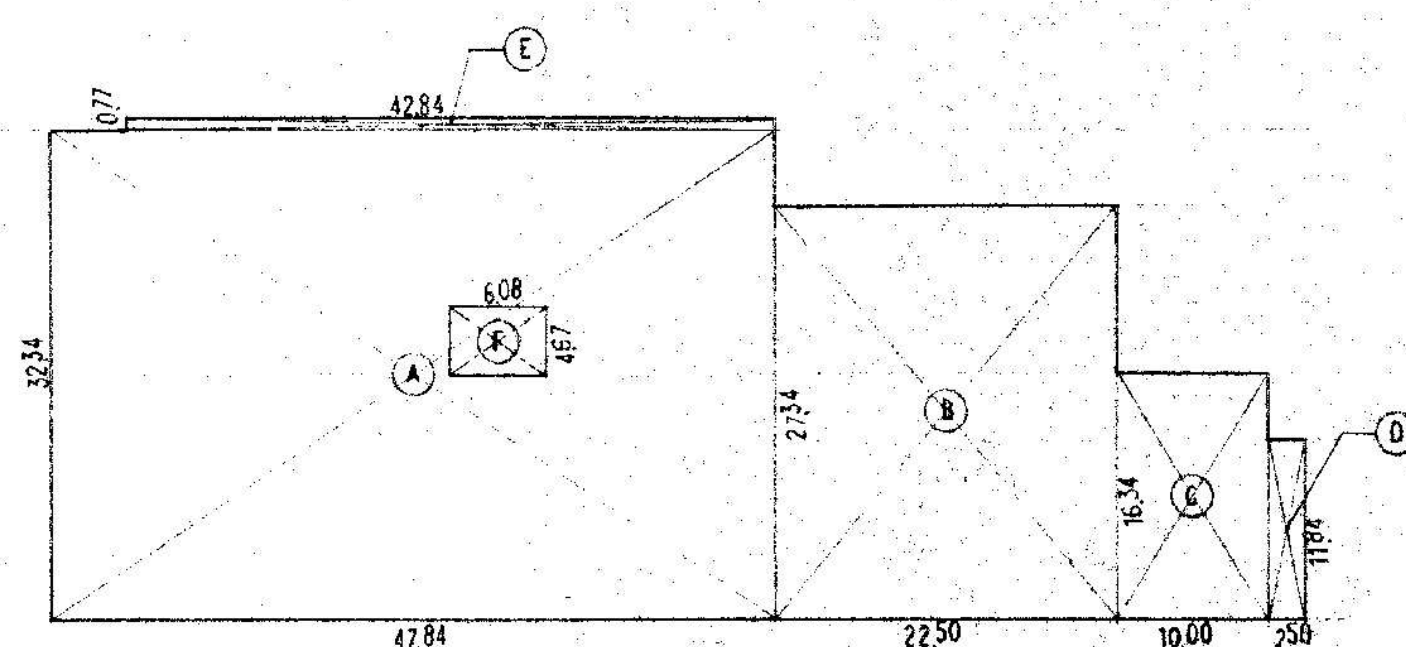
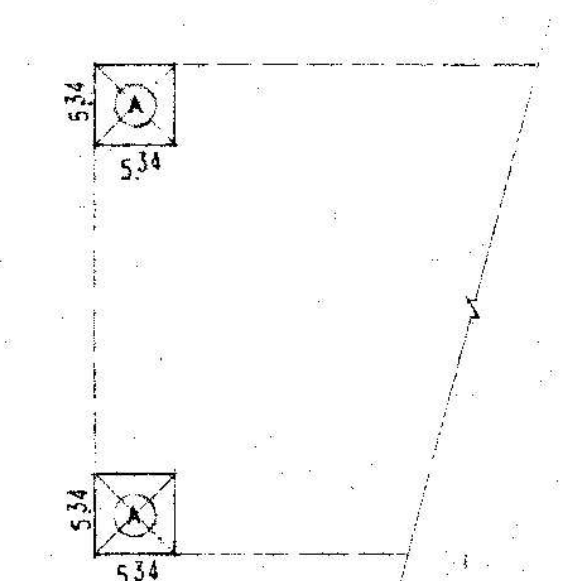
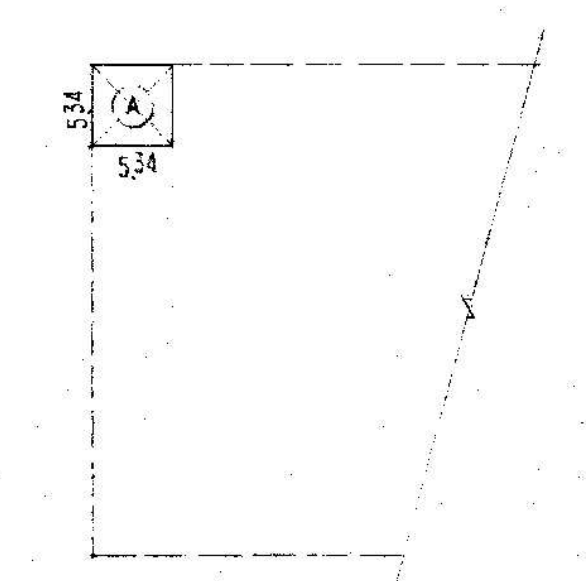
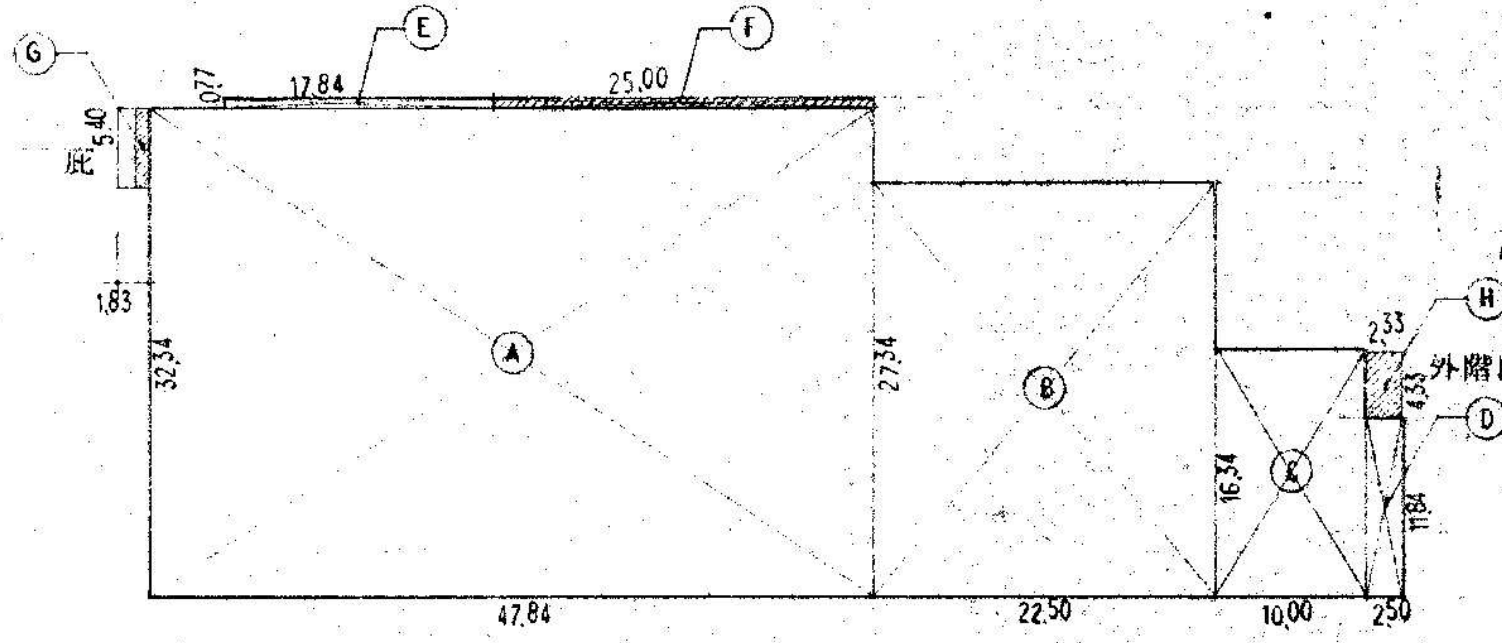
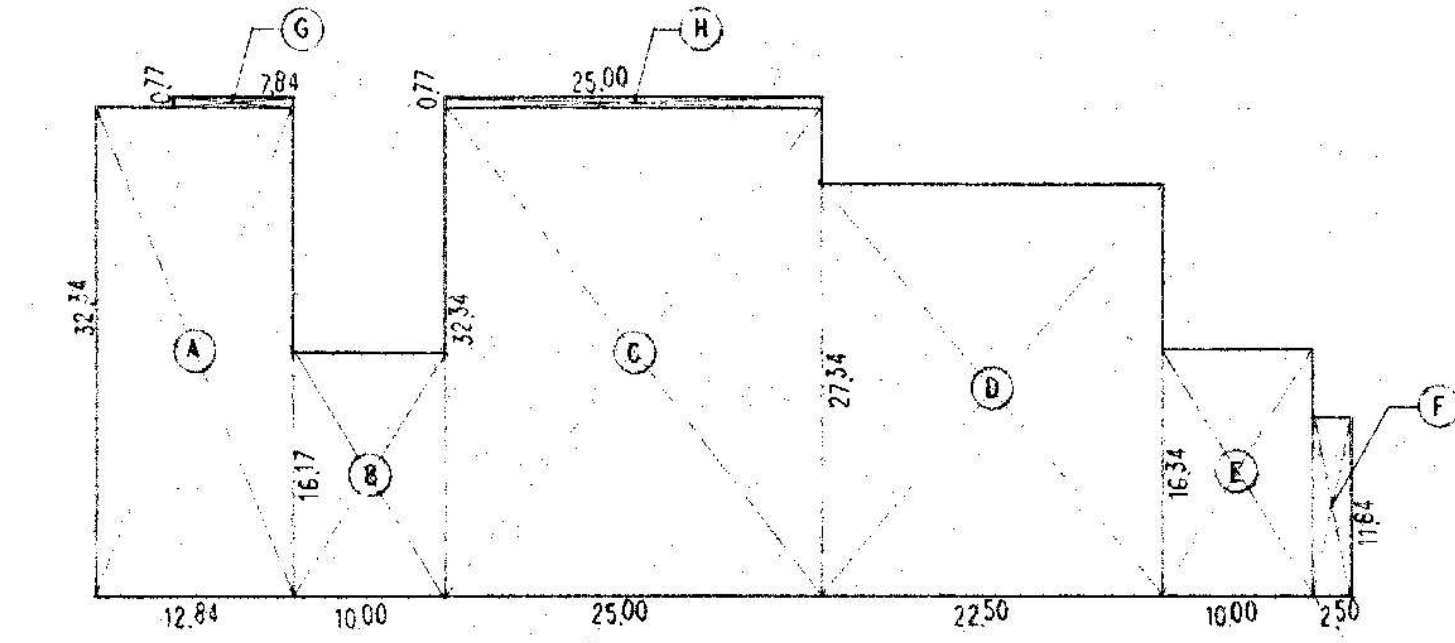
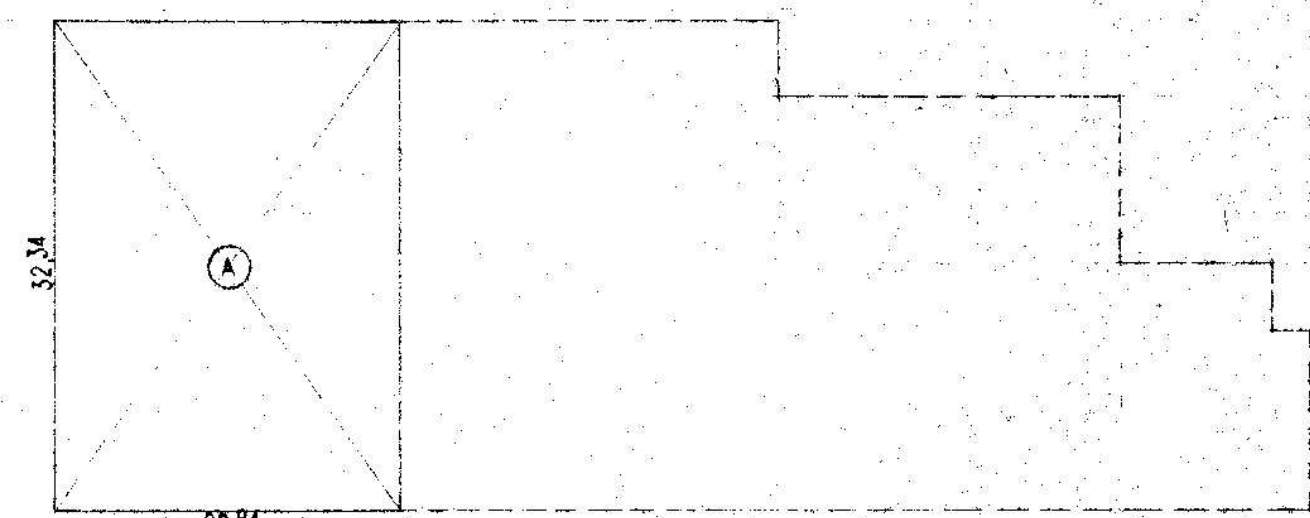
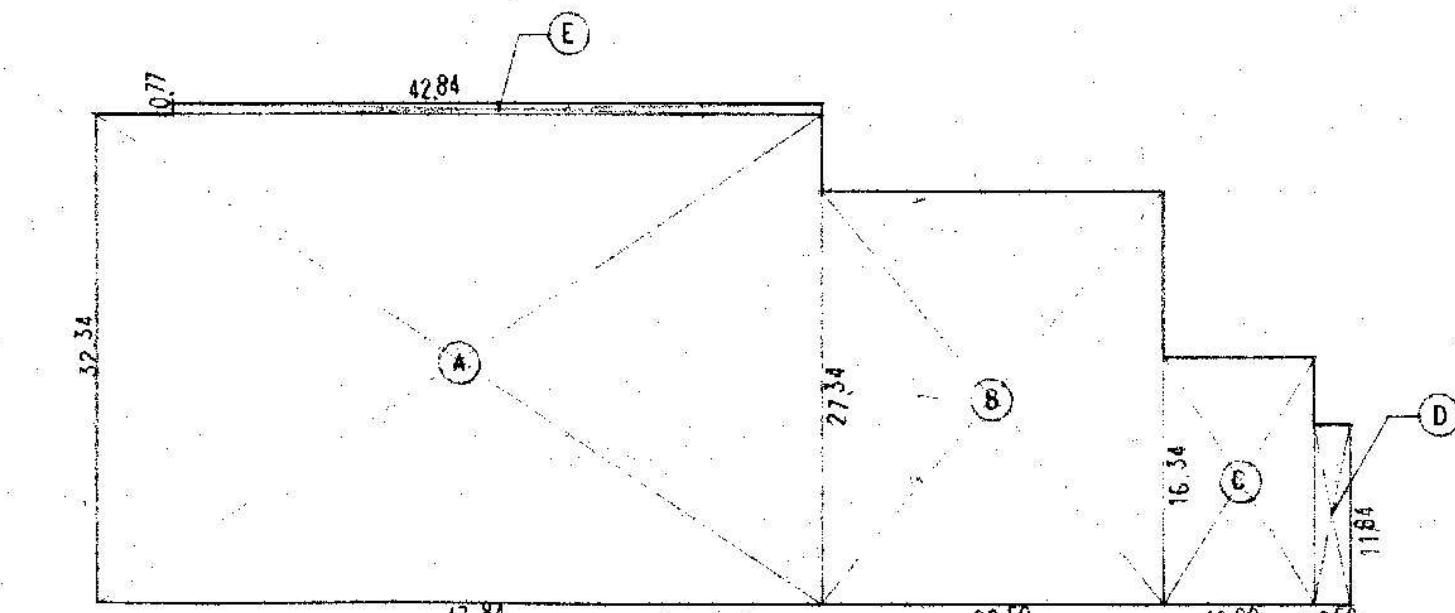
図面名

外構図

図面番号

A-5

建物面積表

2 階	算定図	S=1:500	算定式	R 階	算定図	S=1:500	PH 階	算定図	S=1:500		
			$\begin{aligned} & \textcircled{A} \quad 47.84 \times 32.34 = 1547.1456 \\ & \textcircled{B} \quad 22.50 \times 27.34 = 615.1500 \\ & \textcircled{C} \quad 10.00 \times 16.34 = 163.4000 \\ & \textcircled{D} \quad 2.50 \times 11.84 = 29.6000 \\ & \textcircled{E} \quad 42.84 \times 0.77 = 32.9868 \\ & \textcircled{F} \quad 6.08 \times 4.67 = 28.3936 \\ & \textcircled{A} + \textcircled{B} + \textcircled{C} + \textcircled{D} + \textcircled{E} + \textcircled{F} \\ & \quad = 2359.8888 \\ & \textbf{2 階床面積} \quad 2359.89 \text{ m}^2 \end{aligned}$				$\begin{aligned} & \textcircled{A} \quad 5.34 \times 5.34 = 28.5156 \\ & \textcircled{A} \times 2 = 57.0312 \\ & \textbf{R 階床面積} \quad 57.03 \text{ m}^2 \end{aligned}$				$\begin{aligned} & \textcircled{A} \quad 5.34 \times 5.34 = 28.5156 \\ & \textbf{PH 階床面積} \quad 28.52 \text{ m}^2 \end{aligned}$
1 階	算定図	S=1:500	算定式	4 階	算定図	S=1:500	算定式				
			$\begin{aligned} & \textcircled{A} \quad 47.84 \times 32.34 = 1547.1456 \\ & \textcircled{B} \quad 22.50 \times 27.34 = 615.1500 \\ & \textcircled{C} \quad 10.00 \times 16.34 = 163.4000 \\ & \textcircled{D} \quad 2.50 \times 11.84 = 29.6000 \\ & \textcircled{E} \quad 17.84 \times 0.77 = 13.7368 \\ & \textcircled{A} + \textcircled{B} + \textcircled{C} + \textcircled{D} + \textcircled{E} \\ & \quad = 2369.0324 \\ & \textbf{1 階床面積} \quad 2369.03 \text{ m}^2 \\ & \textcircled{F} \quad 25.00 \times 0.77 = 19.2500 \\ & \textcircled{G} \quad 0.83 \times 5.40 = 4.4820 \\ & \textcircled{H} \quad 2.33 \times 4.33 = 10.0889 \\ & \textcircled{A} + \textcircled{B} + \textcircled{C} + \textcircled{D} + \textcircled{E} + \textcircled{F} + \textcircled{G} + \textcircled{H} \\ & \quad = 2402.8533 \\ & \textbf{建築面積} \quad 2402.85 \text{ m}^2 \end{aligned}$				$\begin{aligned} & \textcircled{A} \quad 12.84 \times 32.34 = 415.2456 \\ & \textcircled{B} \quad 10.00 \times 16.17 = 161.7000 \\ & \textcircled{C} \quad 25.00 \times 32.34 = 808.5000 \\ & \textcircled{D} \quad 22.50 \times 27.34 = 615.1500 \\ & \textcircled{E} \quad 10.00 \times 16.34 = 163.4000 \\ & \textcircled{F} \quad 2.50 \times 11.84 = 29.6000 \\ & \textcircled{G} \quad 7.84 \times 0.77 = 6.0368 \\ & \textcircled{H} \quad 25.00 \times 0.77 = 19.2500 \\ & \textcircled{A} + \textcircled{B} + \textcircled{C} + \textcircled{D} + \textcircled{E} + \textcircled{F} + \textcircled{G} + \textcircled{H} \\ & \quad = 2218.8824 \\ & \textbf{4 階床面積} \quad 2218.88 \text{ m}^2 \end{aligned}$				
B1 階	算定図	S=1:500	算定式	3 階	算定図	S=1:500	算定式				
			$\begin{aligned} & \textcircled{A} \quad 22.84 \times 32.34 = 738.6456 \\ & \textbf{B1 階床面積} \quad 738.65 \text{ m}^2 \\ & \textbf{延床面積} \quad 10160.28 \text{ m}^2 \\ & \textbf{容積率算定用延床面積} \quad 8128.22 \text{ m}^2 \end{aligned}$				$\begin{aligned} & \textcircled{A} \quad \text{ } \\ & \textcircled{B} \quad \text{ } \\ & \textcircled{C} \quad \text{ } \\ & \textcircled{D} \quad \text{ } \\ & \textcircled{E} \quad \text{ } \\ & \textcircled{A} + \textcircled{B} + \textcircled{C} + \textcircled{D} + \textcircled{E} \\ & \quad = 2388.2824 \\ & \textbf{3 階床面積} \quad 2388.28 \text{ m}^2 \end{aligned}$				



株式会社 新昭和

千葉県君津市東坂田4丁目3番3号
1級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-1809-1156号

管理建築士
1級建築士 第152777号
新見 真弘

承認 検図 担当

設計 NO

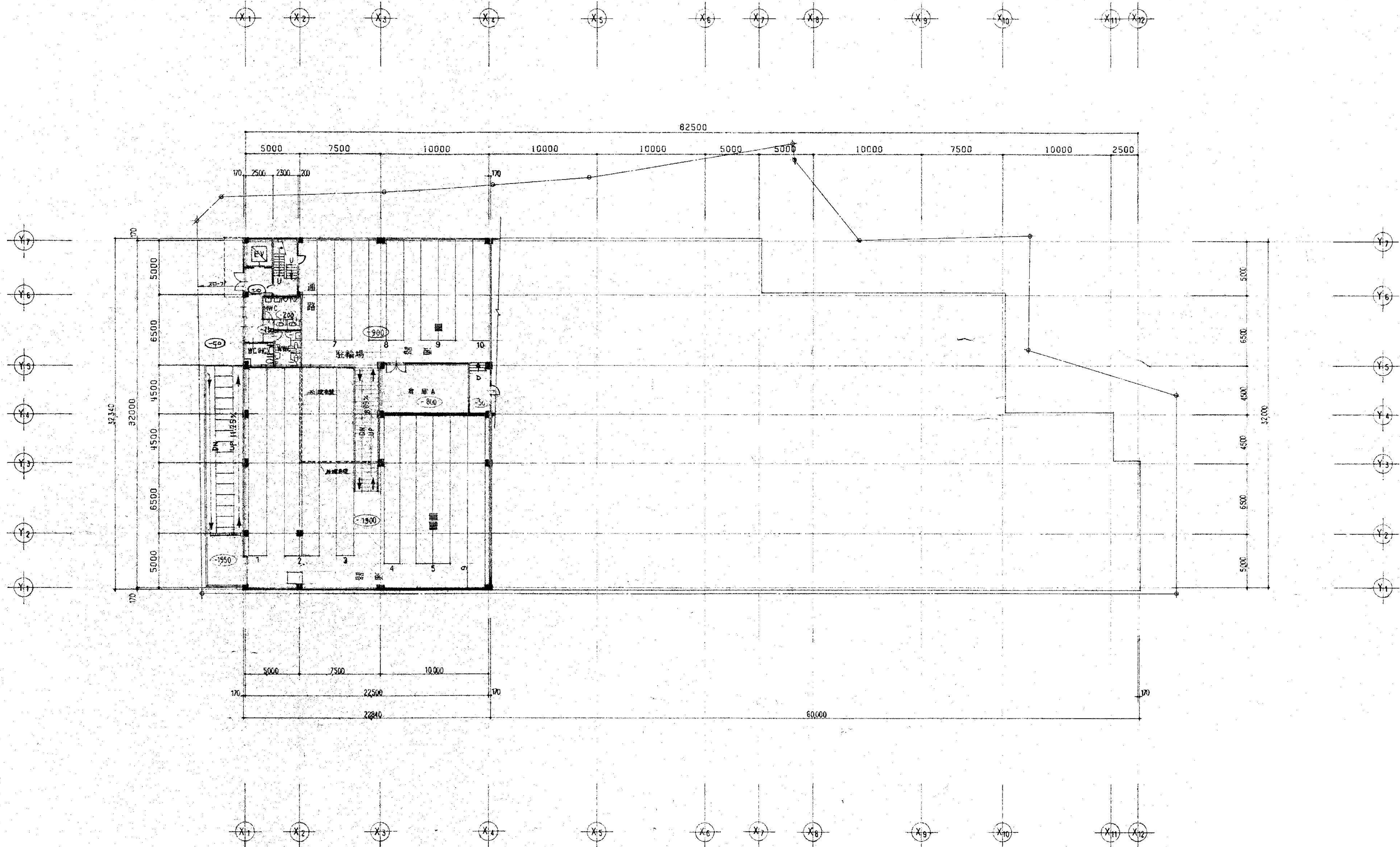
縮尺
S=1:500 (A1)
S=1:1000 (A3)

名称
木更津駅前西口駐車場解体工事

図面名
建物面積表

図面番号

A-6



B1 階 平 面 図 S=1200



株式会社 新昭和

千葉県君津市東坂田4丁目3番3号
1級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-1809-1156号

管理建築士
1級建築士 第152777号
新見 真弘

承認 検図 担当

設計 NO

縮尺

S=1:200 (A1)
S=1:400 (A3)

名称

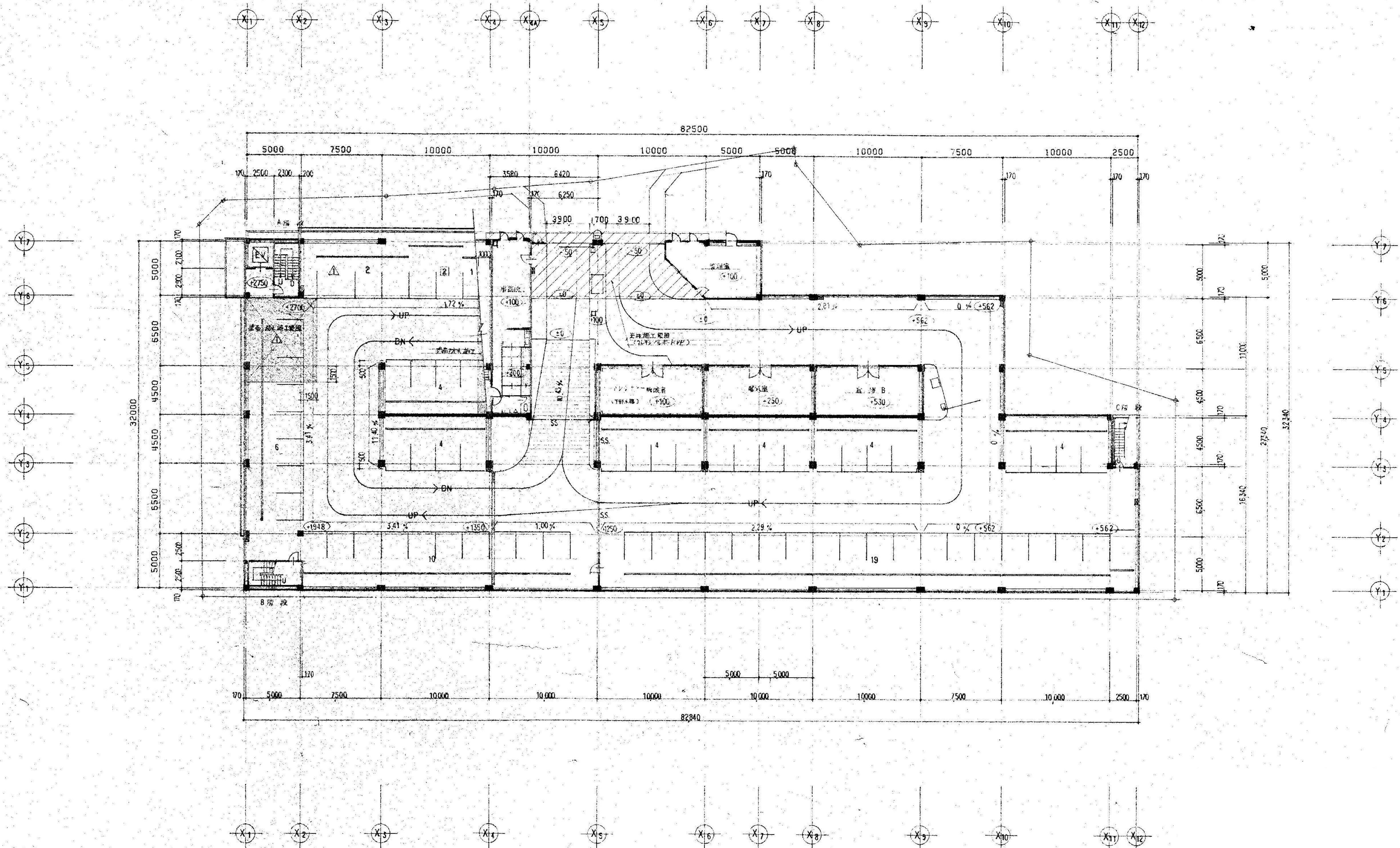
木更津駅前西口駐車場解体工事

図面名

B1階平面図

図面番号

A-7



1 階平面図 S=1:200

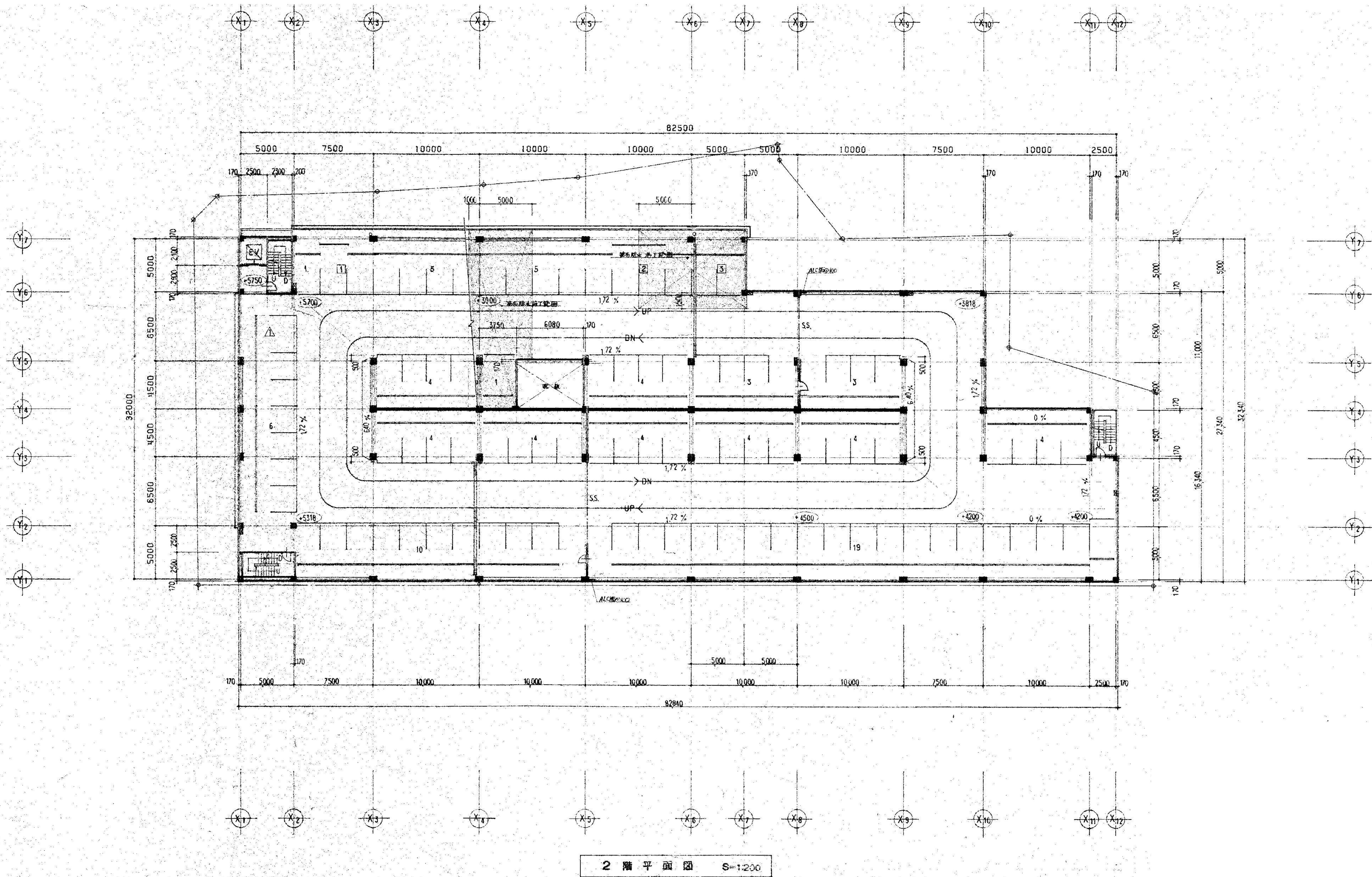
- : 大型車用スペース
- △ : 身障者用スペース



株式会社 新昭和

千葉県君津市東坂田4丁目3番3号
1級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-1809-1156号

管理建築士 1 級 建 築 士 第152777号 新 見 眞 弘			設 計 N O	名 称 木更津駅前西口駐車場解体工事	図 面 番 号 A-8
承認	検図	担当	縮 尺 S=1:200 (A1) S=1:400 (A3)	図 面 名 1階平面図	



2 階 平 面 図 S=1:200



株式会社 新昭和

千葉県君津市東坂田4丁目3番3号
1級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-1809-1156号

管理建築士 第152777号
1級建築士 新見 眞弘

承認 検図 担当

設計 NO

縮尺

S=1:200 (A1)
S=1:400 (A3)

名称

木更津駅前西口駐車場解体工事

図面名

2階平面図

図面番号

A-9